

共同参画だより



○これも男女共同参画！

○ひとりひとりの豊かな生き方に向けて

！ これも男女共同参画！

身のまわりの男女のパートナーシップなど、男女共同参画の実現に向けた情報提供の一環として『共同参画だより』を作成し、今月でNo.100を発行することができました。今一度「男女共同参画」とは何か？を知っていただくために、今回は「男女共同参画基本法」をおさらいしていきたいと思ひます。

男女共同参画社会を実現するための5本の柱



男女の人権の尊重

・性別にかかわらず、一人の人間として個性と能力を発揮できるよう機会を確保する必要があります。

社会における制度または慣行についての配慮

・「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」といった、固定的性別役割分担意識にとられない社会の制度や慣行のあり方を考える必要があります。

政策等の立案及び決定への共同参画

・男女があらゆる分野において方針の決定に参画できる機会を確保する必要があります。

家庭生活における活動と他の活動の両立

・男女が対等な家族の構成員として互いに協力し、社会の支援も受け、子の養育や家族の介護、仕事や学習、地域活動等ができるようにする必要があります。

国際的協調

・男女共同参画社会の実現のためには、国際社会とともに歩むことも大切です。他の国々や国際機関と相互に協力して取り組む必要があります。

「男女共同参画社会基本法」の中に、「家庭生活における活動と他の活動の両立」や「国際的協調」といった文言があるのは意外に思われたかもしれません。

男女共同参画社会は、男女が互いを尊重し、「男性」や「女性」という性別の枠にあてはめてしまうことなく、その人自身の個性や能力を十分に発揮できる豊かな社会のことであります。そのためにも、家庭と仕事を両立する「ワークライフバランス」といった考え方や、政治や行政等への女性の参画を推進していくことが求められています。



2 ひとりひとりの豊かな生き方に向けて

女性も男性も自分らしくいきいきと暮らせる社会実現のためには、まず、一人ひとりが意識せずに当たり前だと思っていることを見つめなおす必要があります。

例えばこんなところから…

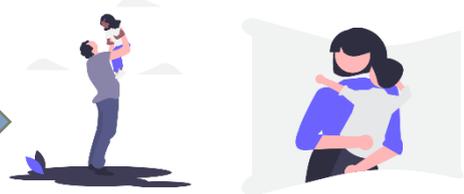
家族みんなで家事を分担



結婚・出産後も仕事を続ける女性が多くなり、家事をする男性も増えてきています。しかし、掃除・洗濯・料理等のわかりやすいもの以外に、食器の片づけ・洗濯物の分別等の「名もなき家事」と言われる細かい家事については見逃されがちです。

家庭内での家事分担を見直してみませんか。

子育てや介護は夫婦が協力し合って



男性の子育てへのかかわりが少なく、一人で子育ての負担に悩んでいる女性は少なくありません。夫婦で協力し合って子育てや介護をすることが大切です。

男性も女性も仕事と家庭が両立できる環境に



結婚・出産後も就業継続を希望する女性は大勢います。しかし、実際には離職せざるを得ない女性も少なくありません。女性が仕事を続けられるよう、制度や職場の雰囲気などの環境を整備する必要があります。また、男性も仕事だけでなく、育児・介護など家庭に関わりたいたいと思っている人が増えています。

これからは、男性も女性も、仕事と家庭を両立できるようにしなければなりません。

「女らしく」「男らしく」ではなく「あなたらしく」



「女はこうあるべき」「男はこうあるべき」という価値観で、行動や考え方を制限していませんか。そうした固定観念は、自分自身や相手の自由な考え方や発想をつぶしてしまうおそれもあります。性別による固定的役割分担意識をもたないことが大切です。

常総市では「男女共同参画社会基本法」に基づき、来年度に向けて「第3次常総市男女共同参画計画」の策定を進めています。

審議会の方々と協力し、よりよい計画をお届けできるようにしますので、完成後は是非ご覧ください。